



海外在住者賞

理科部門

『なぜ人はメジャー・コードを聞くと幸せな気分になり、マイナー・コードを聞くとせつない気分になるのか?』



アメリカ サンフランシスコ日本語補習校 小学5年

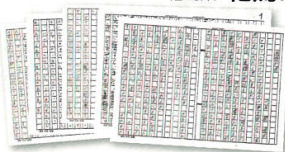
ブル フェリシア

音の組合せに科学的な特徴があり、人の気持ちに影響を与えるのではないかという仮説から実験を考えました。



団体賞

福島県 相馬市立中村第一小学校



本を読んで感じたことや考えたことがしっかり書けている児童、きれいな字で丁寧に書いている児童が多かったです。



センバス・グループ賞

該当者なし



顧問審査員特別賞

＜講評＞ 特別顧問 竹下 景子

この賞は、部門の枠にとらわれず、感動的な作品、特に親子の絆や愛・優しさが感じられる作品を対象に毎年選ばせていただいています。

優芽さん、元気に弟さんが生まれてよかったですね。一年生の時から一年近くの間、お母さんの健診に付き合って記録するのは努力のいることです。よく続けられました。お母さんが妊娠してから、お腹の中で赤ちゃんの育っていく様子が手に取るようになります。優芽さんの研究に、お母さんお父さんも協力して、家族の皆で赤ちゃんの誕生を今か今かと待ち望んでいるのが、読んでいてよく伝わってきました。私も家族の一人になったような気持ちになって読みました。

生命が生まれるのは本当に不思議で、感動的です。自分もこんなふうに生まれたことを学んで、優芽さんは、自分も周りの人も同じように大切にしたいと言っています。この気持ちを大事にして、優しく強い人に育ってほしいと思います。

生活科部門

『わたしの弟が生まれるまで』

長崎県 南島原市立口之津小学校 2年

大野 優芽

お母さんのおなかに赤ちゃんができたことから、生まれるまでの記録をつけ、作品にまとめてくれた優芽さん。お母さんのおなかが少しずつ大きくなっていく様子が写真でまとめられていて、添えられているコメントから、もうすぐ会えるという喜びが伝わってきます。



◎詳しくは、ホームページをご覧ください◎ <http://www.child-lab.com/sakuhin/index.html>